

2005年日本国際博覧会「愛・地球博」の「バイオ・ラング」水景ミスト演出



株式会社ウォーターデザイン
山本 誠



「バイオ・ラング」水景ミストは、愛・地球広場の中央に位置し、高さ4.5～15m、幅150mの3層からなる自立した世界最大級垂直緑化壁の上段部に特殊霧ノズル1500本を配置し演出しています。

「バイオ・ラング」は、博覧会のテーマ「自然の叡智」を訴求・具現化し、地球温暖化対策や都市のヒートアイランド現象の緩和など、さまざまな環境圧を低減する未来都市装置の提案をし、垂直緑化壁と共に水景ミストは潤いのある環境づくりを行っています。

夜間には、さまざまな生命が植物の中で生まれ、育まれたその生命の源となる「呼吸」をテーマに、映像と光(LED)、ミスト、そして音楽を組み合わせたバイオラングシン

フォニー「環」が行われており、ミストは、デザインコンセプトである山里の幻想的イメージを幅150mの周囲をも巻き込んだ空間を演出しています。

昼間は数分毎にノズル150本を各所交互に噴出させ、夜間演出のバイオラングシンフォニーと異なった空間を演出しています。

特殊霧ノズルから水圧70kg/cm²より発する約15ミクロンのミストは、700mの落差がある滝壺にいるようなマイナスイオン効果や霧が気化する際に空気中の熱を奪い、気温を2～3度冷却する効果もあります。

今後、都市のさまざまな空間におけるミストの導入は、清涼感とヒートアイランド現象の緩和に期待されます。



「造園CPD」協議会に日本水景協会参加

●造園CPDとは？

- CPD＝Continuing Professional Development(継続的専門能力開発＝継続教育)のことです。
- 造園系の技術者が日々行っている、自分の技術向上や知識の幅を広げる努力を支援し、その結果について、第三者証明を行うものです。

●なぜCPDが必要か

- 社会が複雑に変化している現在、技術への信頼性と技術者の役割や責任認識の向上が重要です。
- CPDの実施は、常に技術者や知識の向上を目指している技術者を証明するとともに、技術者本人や雇用している企業の客観的評価につながるものです。

日本水景協会は、上記に賛同し、会員会社の社員の方に多数の賛同を受け「造園CPD」会員に登録させて頂きました。

これも社員の皆さんが最新の技術を身につけ専門性を深め知識の幅を広げるための積極的な参加であると思います。

また、公共工事等で、CPD単位取得者のいる企業を優遇するなどの試行も始まっており、個人の技術向上だけでなく各会社へのメリットもあるので、多くの知識を身につけて下さい。

各種の技術講習会等のプログラムは「造園CPD」「建設系CPD」のホームページを参照願います。